

## 株式会社 島津製作所 様



## SHIMADZU

株式会社 島津製作所 様

精密機器、計測器、医療機器、航空機器の製造を行う日本を代表する精密機器メーカー。数多くの日本初・世界初の製品を世に送り出す。

所在地: 京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
URL: <https://www.shimadzu.co.jp/>

## NEC ネットズエスアイ

NEC ネットズエスアイ株式会社 様

通信インフラの設置工事を行う会社として設立されコミュニケーション・システムインテグレーターとして幅広い情報通信システムをSIから施工・サービスまで一貫して提供。

所在地: 東京都文京区後染2-6-1 飯田橋ファーストタワー  
URL: <http://www.nesic.co.jp/>

## RADIUS GUARD® Sが初めてOffice 365に対応 Office 365の世界全拠点への展開に貢献

快適かつ効率的な仕事環境の実現に早くから取り組んでいる島津製作所では、そのツールの一つとしてOffice 365を利用している。

同社はOffice 365を世界の全拠点に展開する計画を進めているが、その取り組み中で認証の仕組みに課題が生じた。

その課題の解決に貢献したのがSCSKのRADIUS認証・DHCPアプライアンスサーバー「RADIUS GUARD® S」だ。

そして島津製作所の導入に伴い、RADIUS GUARD® Sが初めてOffice 365に対応した。

## 課題

Office 365の世界展開を行う中でセキュリティポリシー上、導入できない海外拠点が存在した

Office 365の早期展開を実現するため、自社で運用可能な電子証明書の発行、認証サービスを早急に導入する必要があった

## 解決

電子認証に必要な機能がオールインワンで導入できる  
認証アプライアンスRADIUS GUARD® Sを導入

電子認証によるセキュリティ強化と認証システムの高い信頼性が実現され、  
課題となっていた海外拠点へのOffice 365展開が可能になった

### 週の3日は「ノー残業デー」 Office 365の世界展開で課題に直面

分析・計測機器を開発・製造する島津製作所は、日本で初めてX線撮影に成功するなど科学の分野で多くの実績を重ねてきた。現在は分析機器や計測機器をはじめ医用機器、航空機器、産業機器の分野でグローバルに事業を展開している。この事業展開を見てわかる通り、同社は法人向けの事業を展開している。しかしながら同社の社名が広く一般に知られているのは、同社に田中耕一氏が在籍しているからだろう。

田中氏はたんぱく質を分析・計測する方法「ソフトレーザー脱離イオン化法」を発見した功績により、2002年にノーベル化学賞を受賞した。受賞以降も少量の血液で病気を早期に発見する技術の実用化に向けて研究を続けており、2018年2月1日には血液を使ってアルツハイマー病と関係の深い物質が脳にたまっていることを発症前に見つける手法を確立したことを発表している。

田中氏が今も島津製作所に社員として在籍しているのは同社が研究を重視し、事業を通じて社会貢献に真摯に取り組む創業以来の姿勢と、快適かつ効率よく働ける仕事環境の実現に取り組む続けているからではないだろうか。

島津製作所では現在多くの企業が取り組む「働き方改革」や「ワークスタイル変革」、さらには「ワークライフバランス」が注目されるはるか以前より仕事の効率化に取り組むため、現在では週に3日も「ノー残業デー」を設けるなど残業時間を全社的に大幅に削減しているにもかかわらず、同社は多くの実績と好

業績を出している。その成果に貢献しているのがITだ。

同社ではモバイルや在宅などのテレワークをはじめ業務の生産性を向上させるための仕事環境を、ITの活用によって整備してきた。その中の一つにマイ



株式会社島津製作所  
業務システム統括部  
情報システム部  
インフラグループ 主任  
榎 慎介氏



SHIMADZU(China)Co.,LTD.  
Shanghai Branch  
Director Of Information  
Systems Dept.  
川端 一範氏



株式会社島津ビジネスシステムズ  
システムビジネスユニット  
インフラ技術部  
課長  
菅原 伸悟氏



NEC ネットズエスアイ株式会社  
関西支社  
第二ソリューション営業部  
小林 量介氏



NEC ネットズエスアイ株式会社  
関西ソリューション事業部  
第一ソリューション部  
田中 友樹氏

クロソフトのOffice 365の利用が挙げられる。同社は3年前よりOffice 365を導入している。

業務やコミュニケーションに必要なツールが外出先や海外でも利用できるOffice 365は、業務の生産性向上に有効だ。そこで同社は国内外のグループ会社のすべてにOffice 365を展開する計画を進めている。ところがOffice 365を世界展開する中でセキュリティに関する課題に直面した。

## グローバルIPアドレス認証から電子証明書による認証に変更

同社が直面した課題について島津製作所 業務システム統括部 情報システム部 インフラグループ 主任 糺 慎介氏は「Office 365を利用する際の認証にグローバルIPアドレスを利用していましたが、グローバルIPアドレスの取得が難しい海外のグループ会社では、セキュリティポリシー上Office 365が導入できませんでした」と説明する。

その解決策として検討したのが電子証明書をを用いた認証方法の利用だ。島津製作所グループの情報システムを担当する島津ビジネスシステムズ システムビジネスユニット インフラ技術部 課長 菅原伸悟氏は「全世界で利用できる電子証明書を導入すればOffice 365だけではなく、セキュリティ基盤を強化できると考えました。電子証明書の発行・認証のサービスにはいろいろありますが、システムごとにサービスが異なると個別に操作しなければならないなど使い勝手が悪くなるほか、管理も面倒です。そのため電子証明書の発行と認証を自社で行えるシステムが好ましいと考えました。ただしOffice 365の世界展開を急いでおり、システムを構築する時間はないためアプライアンスが最適だと判断しました」と当時を振り返る。

解決策の目星をつけた同社は具体的なソリューションを求めてNECネットエスアイ 関西ソリューション事業部 第一ソリューション部 田中友樹氏に相談した。島津製作所とNECネットエスアイは、Office 365の導入からパートナー関係が続いている。

相談を受けた田中氏は「Office 365に対応したRADIUSサーバーがありました。あえてOffice 365に対応していないSCSKの「RADIUS GUARD® S」を提案しました。

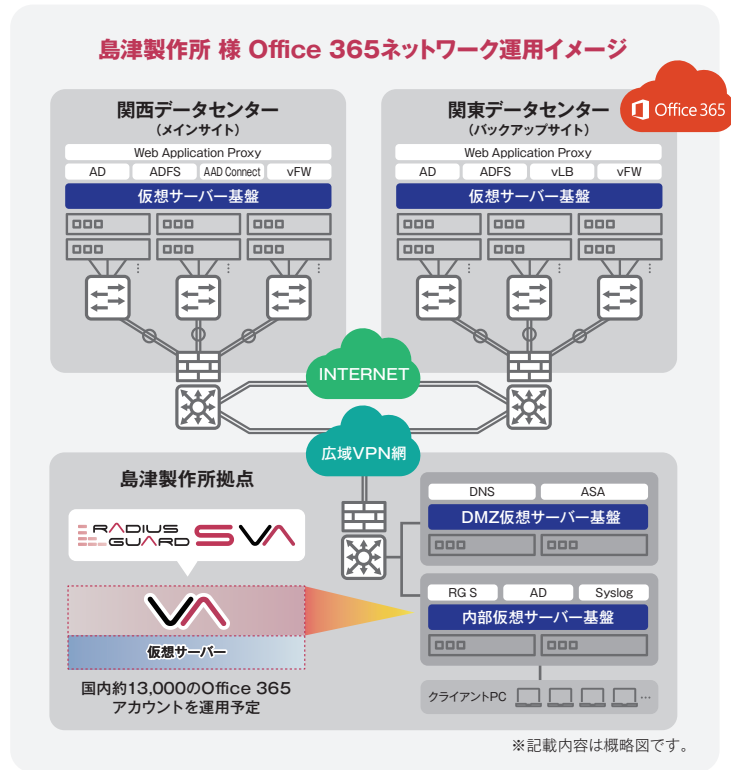
RADIUS GUARD® Sは電子証明書の発行・認証のワークフローの操作が簡単でグローバルで導入・利用するのに適しています。また導入の実績が豊富でSCSKのサポートが手厚く、安心してお勧めできるからです」と説明する。

さらにNECネットエスアイ 関西支社 第二ソリューション営業部 小林量介氏も「RADIUS GUARD® Sは故障が少なく信頼性が高いので、積極的に提案しています」と話を続ける。

## RADIUS GUARD® SをOffice 365対応にVPNや無線LANの認証強化にも活用

NECネットエスアイより提案を受けた島津製作所の糺氏は「RADIUS GUARD® SはOffice 365に対応していませんでしたがSCSKがOffice 365対応を約束してくれたことと、NECネットエスアイが十分な検証をしてくれるということで導入を決めました。実際にSCSKはOffice 365対応について細かく対応してくれましたし、NECネットエスアイは検証について細かく報告をしてくれたので不安はありませんでした」と両社の対応を評価する。

島津製作所がRADIUS GUARD® Sの導入を決めてから数カ月でOffice 365



※記載内容は概略図です。

対応が完了した。そして国内にRADIUS GUARD® Sが導入され、Office 365の世界展開で課題となっていたブラジルの現地法人にもRADIUS GUARD® Sの導入が完了してOffice 365が安全に利用できるようになった。今後もOffice 365の世界展開に伴い、RADIUS GUARD® Sも同社グループの海外拠点に次々と導入される予定だ。

現状、島津製作所は国内約8,000のOffice 365アカウントを運用しており、最終的にはグループ全体の約13,000アカウントまで導入予定。そのうちの約500アカウントをRADIUS GUARD® Sで運用しており、今後さらなる世界展開に伴い、RADIUS GUARD® Sの利用も拡大予定。

島津製作所の糺氏は「稼働を開始してからトラブルもなく安定して稼働しています」と満足している。またNECネットエスアイの田中氏は「Office 365対応ではSCSKが要望に対してスピーディに対応してくれたおかげで、短い期間でプロジェクトを成功させることができました」と喜ぶ。

RADIUS GUARD® Sへの期待について島津ビジネスシステムズの菅原氏は「Office 365など社外での利用にはVPNを使っていますが、RADIUS GUARD® Sを組み合わせて認証を強化したいと考えています。また海外から日本へ出張してきた人が社内の無線LANを利用する際にも、RADIUS GUARD® Sで認証することで安全性が高められます」と意欲を見せる。

また当時、RADIUS GUARD® Sの導入を担当し、現在は中国の現地法人で情報システム部門を統括している川端一範氏は「中国ではスマートフォンやタブレットの業務利用が一般的のため、スマートデバイスにも対応できるRADIUS GUARD® Sでデバイス認証することで、社内ネットワークの安全性を高められると期待しています」と話す。

島津製作所は、セキュリティ強化に伴いますRADIUS GUARD® Sの活用範囲を広げるほか、RADIUS GUARD® Sのベネフィットに期待を抱いている。

※記載の情報は、取材日現在の情報です。

本書記載内容に関するお問い合わせ